

私たち有田川町LPPは、地域の方々と学生との協働によって、棚田の保全及びその基盤となる集落の活性化に向けた取り組みを継続的に支援することを目的として活動しています。

有田川町沼地区の棚田は、棚田の枚数や面積が有田川町のなかでも随一の規模を誇る広大な棚田です。しかしながら、高齢化や人口減少によりその維持が難しくなっています。

そこで、当プログラムでは、学生がその棚田の一ヶ所をお借りして、田植えから稲刈り、精米作業までの一連の流れを担い、棚田の景観の維持に貢献しています。それに加え、棚田を支える地域住民の方々の生活や、棚田に根付く文化の継承に対する支援も行っています。



2024年度の活動

5月

田植え・交流会

棚田の田植えと交流会を行いました。丁寧に植え方を教えてもらい、豊作を願って手植えで苗を植えました。



7月

山椒収穫支援

収穫は地道ですが、達成感のある作業でした。仕分け作業を見学し、多くの労力を要することを実感しました。



9月

稲刈り支援

5月に植えた稲の収穫を行いました。米作の一連の流れを経験し、お米を作ることの大変さを実感しました。



10月

秋祭り支援

一泊二日で餅投げや祭り当日の準備など、秋祭りの支援を行いました。その合間には精米作業も行いました。



11月

草刈り・獣害柵の点検

棚田の草刈りと、獣害柵の点検を行いました。今後の棚田の維持のため、地域の方々と共に頑張りました。



12月

交流会

1年間の活動の振り返りやこれからの沼地区の在り方について話し合いました。食事会も行い、交流を深めました。



1月

天神祭支援

餅投げ等の天神祭の支援を行いました。その後は交流会を行い、親睦を深めました。



●今年度の総括

今年度は、高齢化や人口減少により、支援の重要性が増していることを実感した年でした。このような状況下で、昨年度よりも活動日数が増加し、地域の方々のお力になれたことは今年度の成果の一つです。また、今年度はコロナ以降休刊していた地域住民向けの活動報告誌である「ふぁむからあのね」を復刊しました。これにより、毎回の活動には来られない地域住民の方々にも活動内容を知ってもらうとともに、学生と地域の方々との信頼関係を構築できたことも成果の一つです。

●来年度に向けて

12月にワークショップを行った際に、地域の食文化を学びたいという意見があったため、それに関するイベントを開催することを検討しています。また来年度は、地域外への広報活動にも力を入れていきたいと考えています。